様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和5年6月21日

北九州市長　武内　和久　様

提出者

住　所　東京都品川区大崎1-5-1大崎ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ

氏　名　日鉄エンジニアリング株式会社

代表取締役社長　石倭　行人

電話番号　03－6665－2000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき,令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

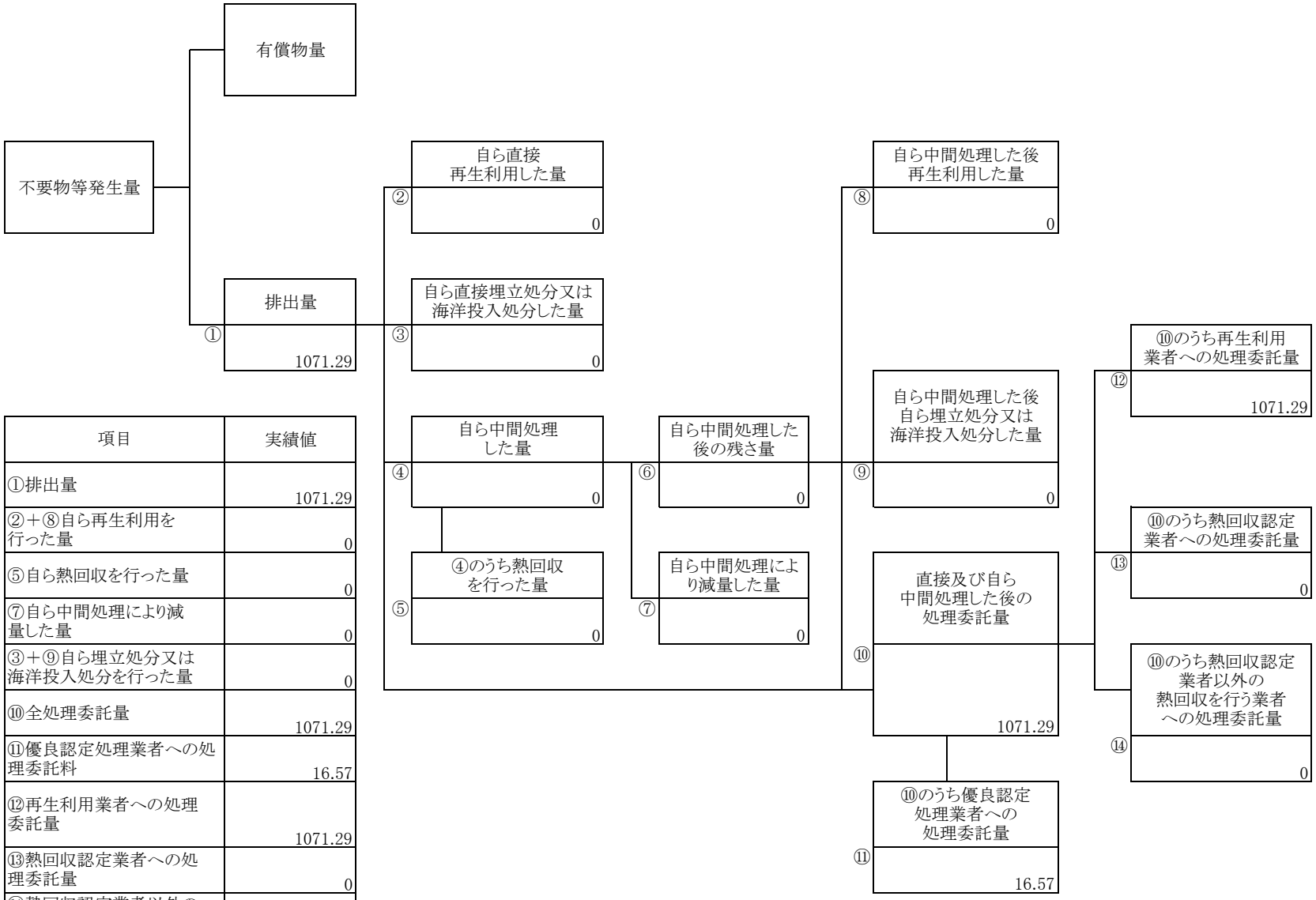
事業場の名称	日鉄エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都品川区大崎1-5-1大崎センタービル
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,676	全処理委託量	2,676
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1,655
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,676
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列4番）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：建設汚泥(水銀関連除く)　　）

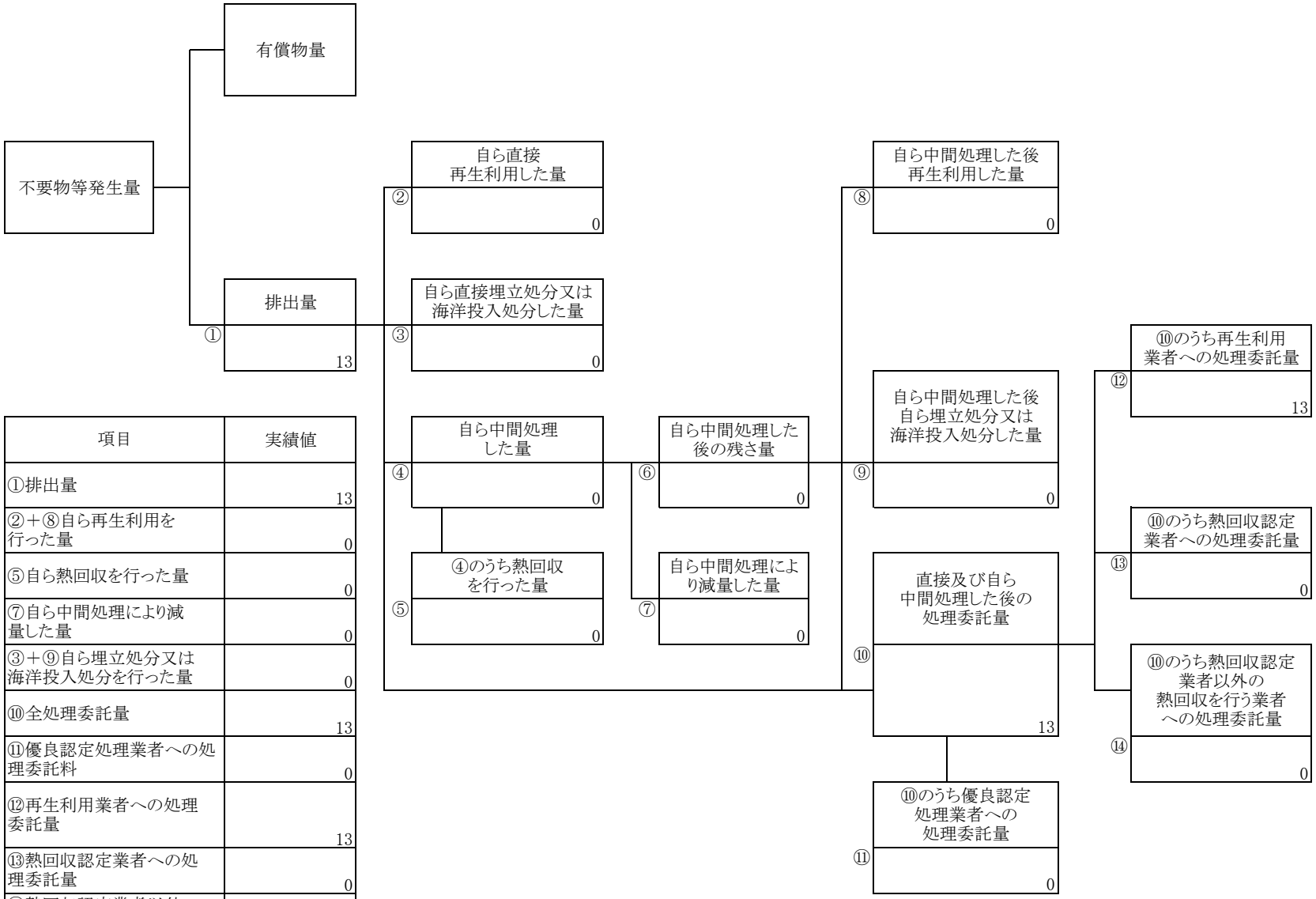


廃棄物

項目	実績値
①排出量	1071.29
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1071.29
⑪優良認定処理業者への処理委託料	16.57
⑫再生利用業者への処理委託量	1071.29
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃アルカリ(水銀関連除く)　　）

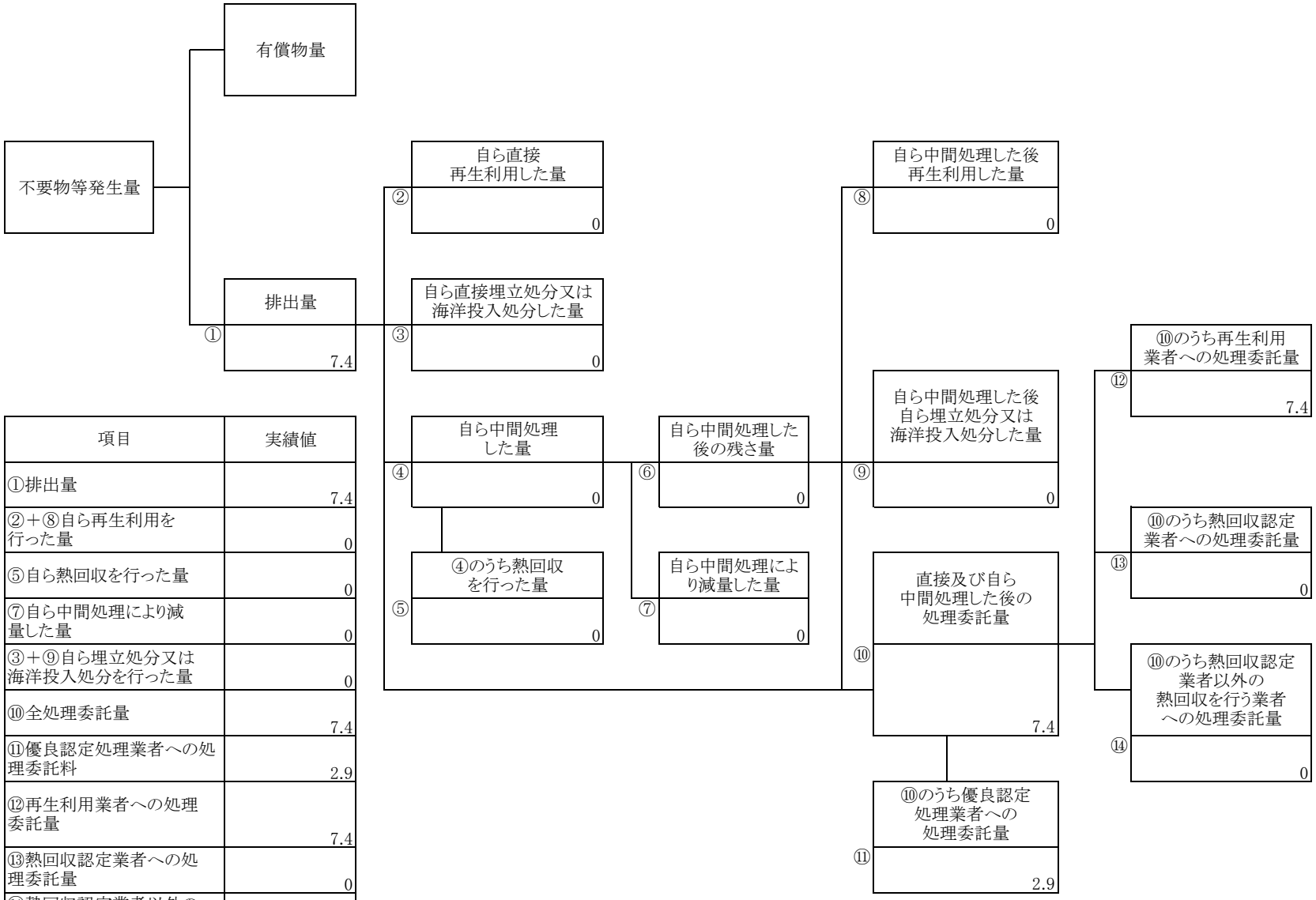


廃棄物

項目	実績値
①排出量	13
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	13
⑪優良認定処理業者への処理委託料	0
⑫再生利用業者への処理委託量	13
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃プラスチック類　　）

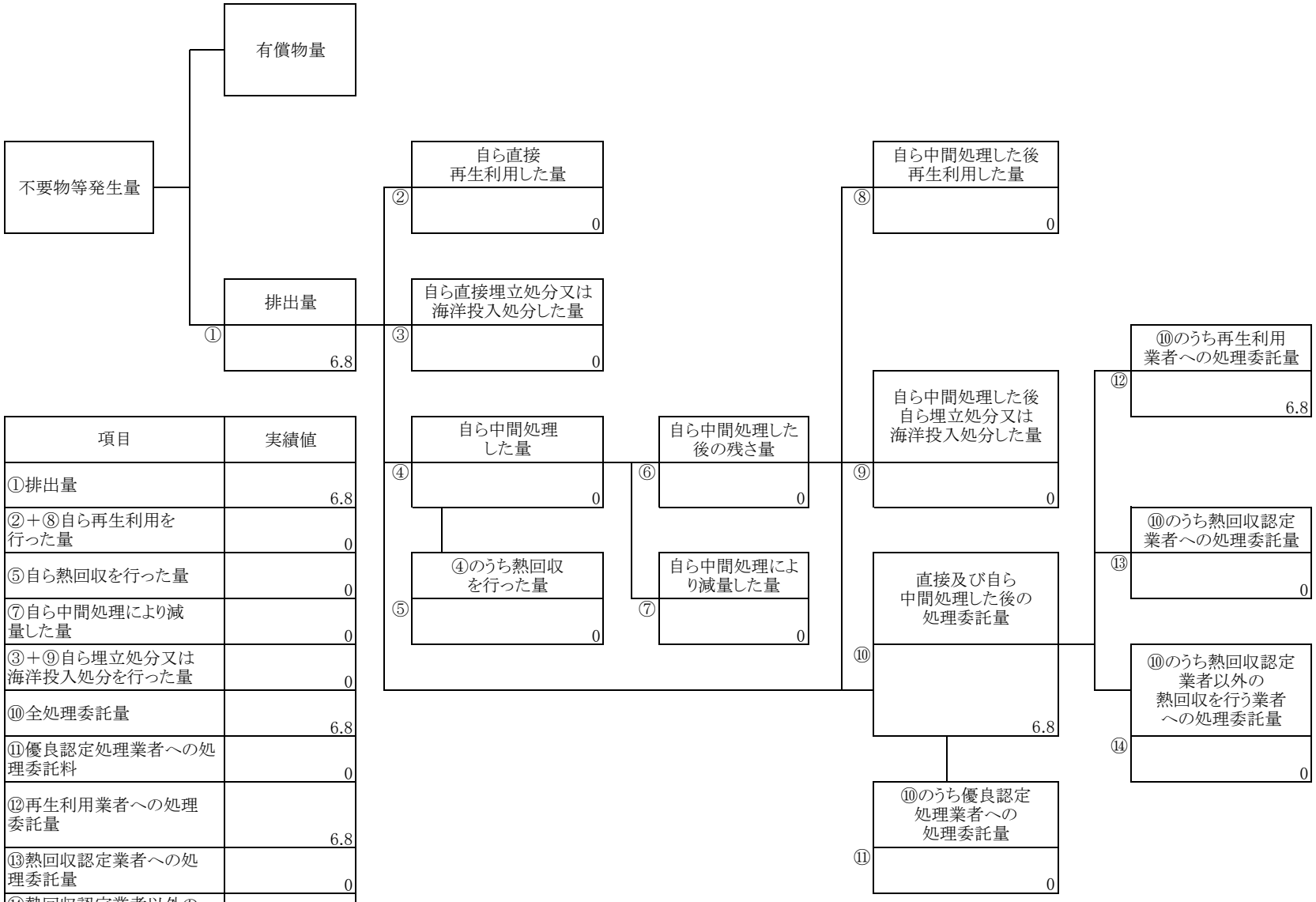


廃棄物

項目	実績値
①排出量	7.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	7.4
⑪優良認定処理業者への処理委託料	2.9
⑫再生利用業者への処理委託量	7.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：金属くず(水銀関連除く)　　）

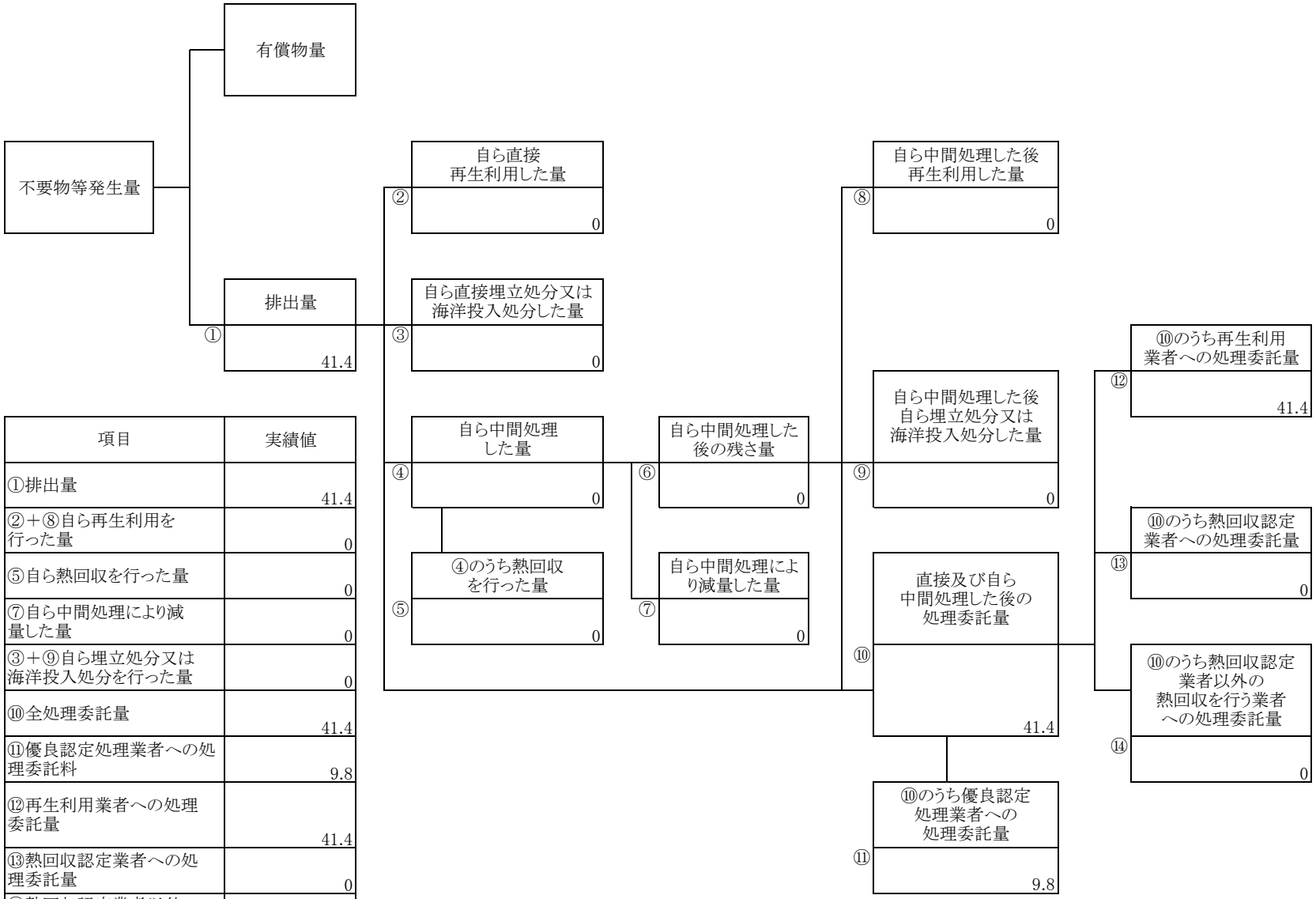


廃棄物

項目	実績値
①排出量	6.8
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.8
⑪優良認定処理業者への処理委託料	0
⑫再生利用業者への処理委託量	6.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：ガラス陶磁器等くず(水銀関連除く)　　）

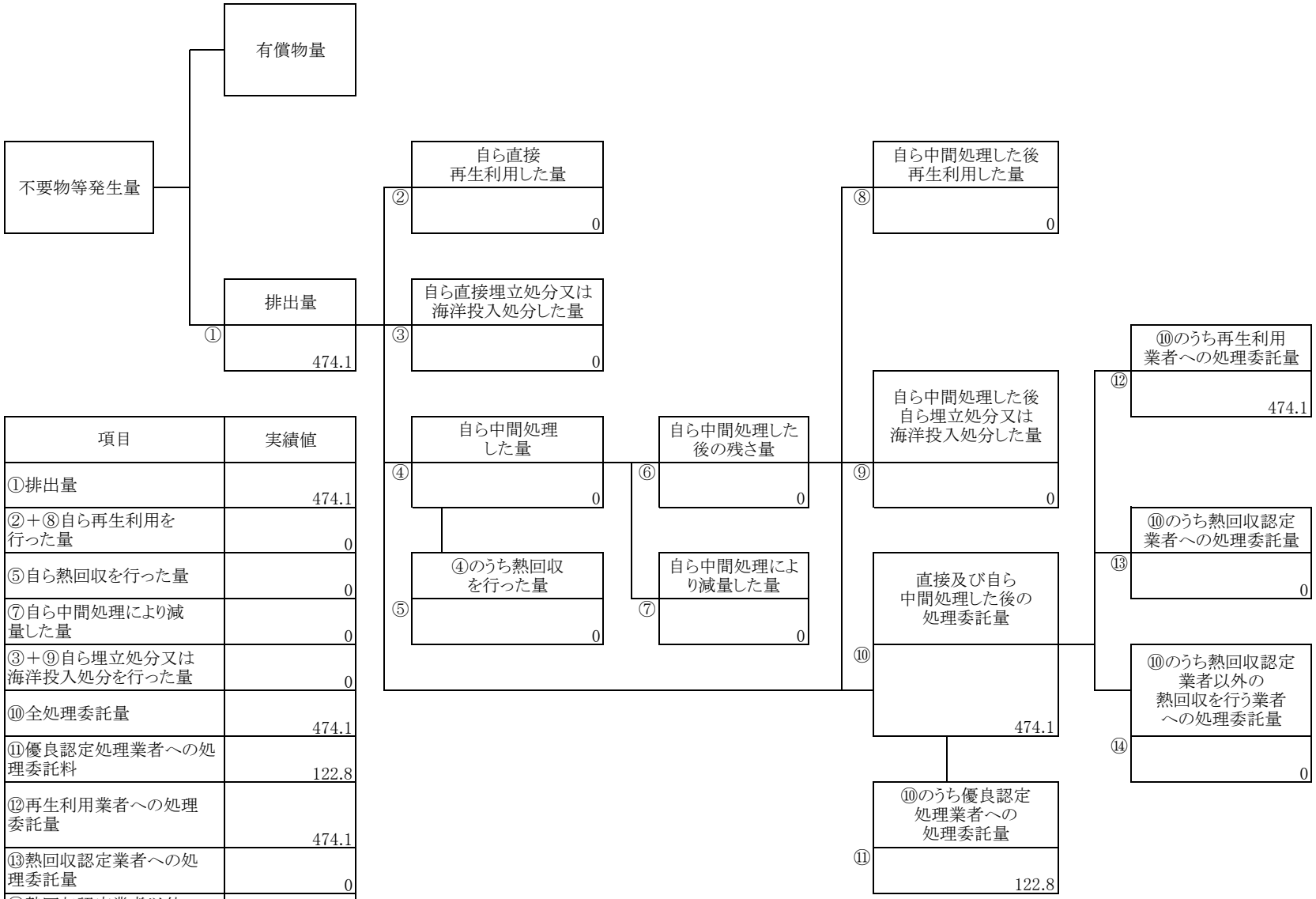


廃棄物

項目	実績値
①排出量	41.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	41.4
⑪優良認定処理業者への処理委託料	9.8
⑫再生利用業者への処理委託量	41.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：コンクリート片　　）

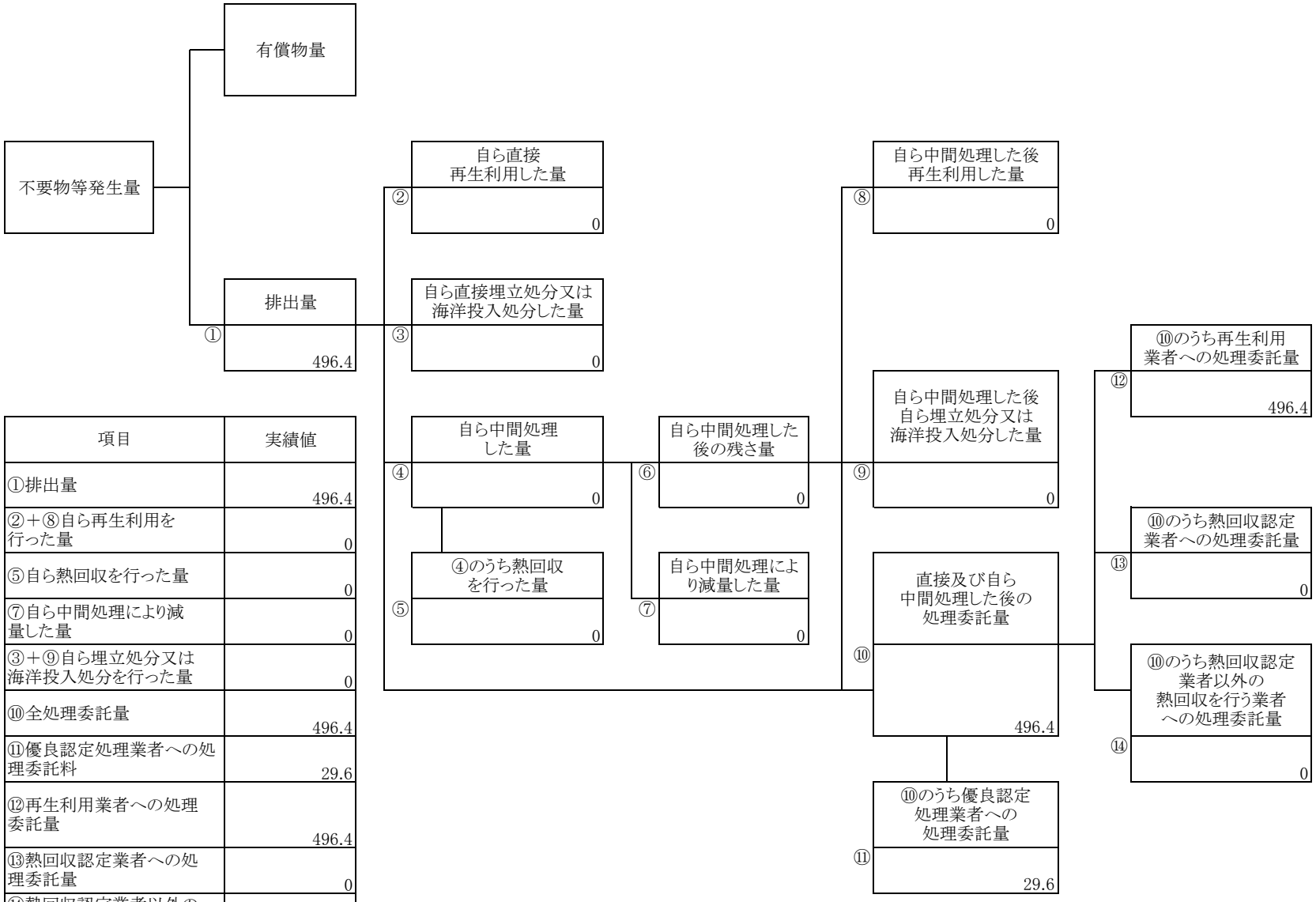


項目	実績値
①排出量	474.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	474.1
⑪優良認定処理業者への処理委託料	122.8
⑫再生利用業者への処理委託量	474.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

廃棄物

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：廃アスファルト　　）

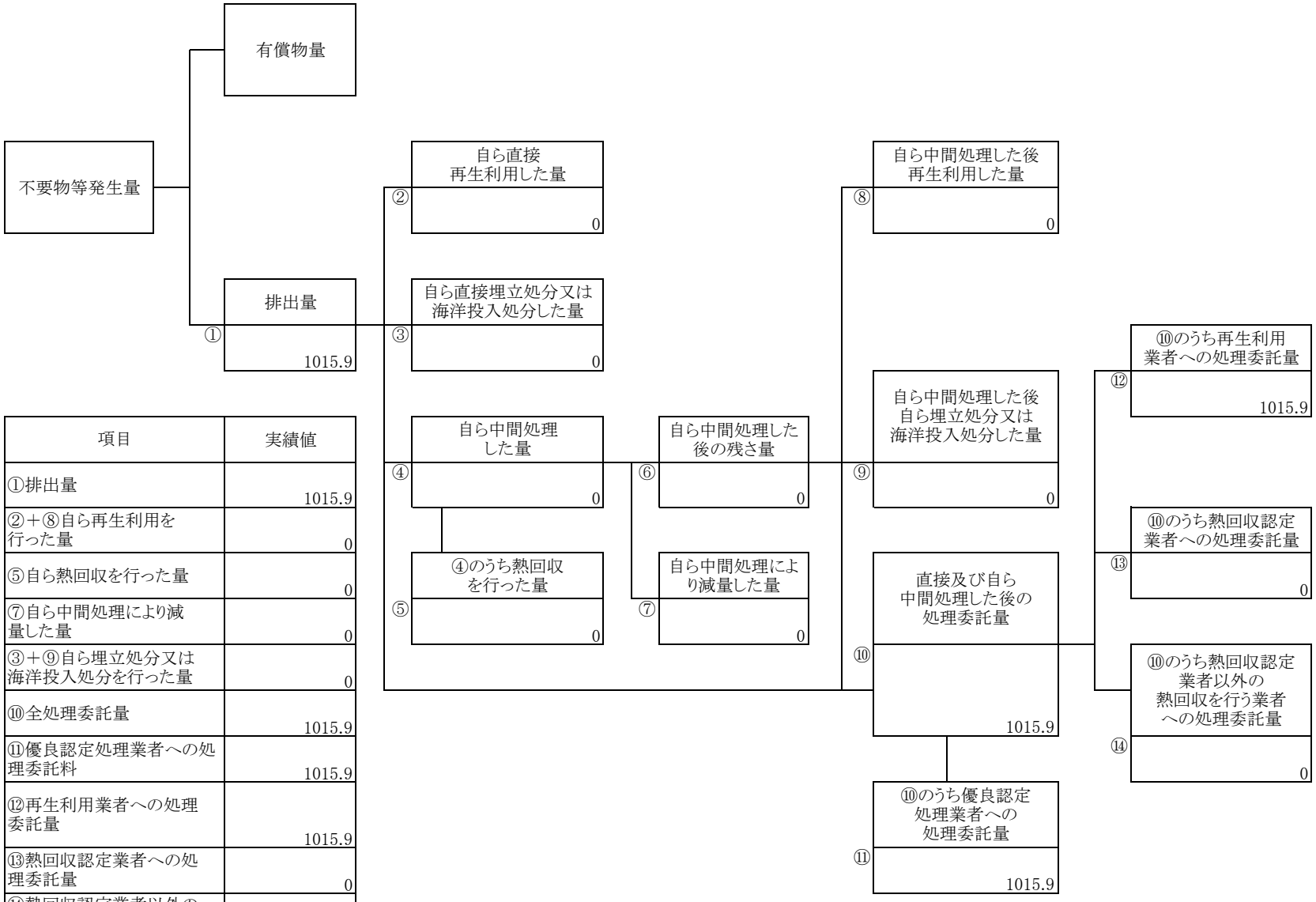


廃棄物

項目	実績値
①排出量	496.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	496.4
⑪優良認定処理業者への処理委託料	29.6
⑫再生利用業者への処理委託量	496.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類: レンガ破片など　　）

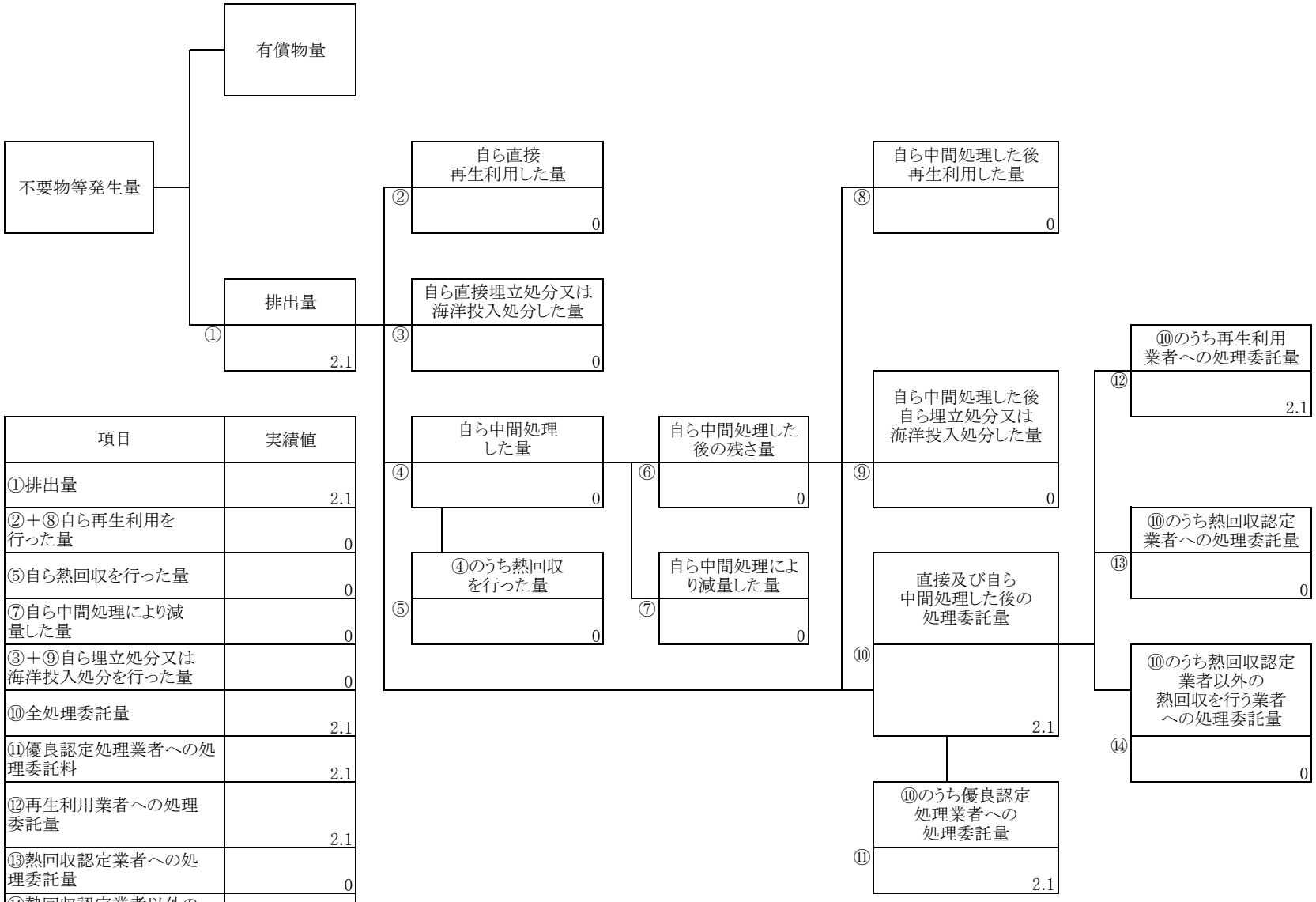


廃棄物

項目	実績値
①排出量	1015.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1015.9
⑪優良認定処理業者への処理委託料	1015.9
⑫再生利用業者への処理委託量	1015.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類: 紙くず　　）

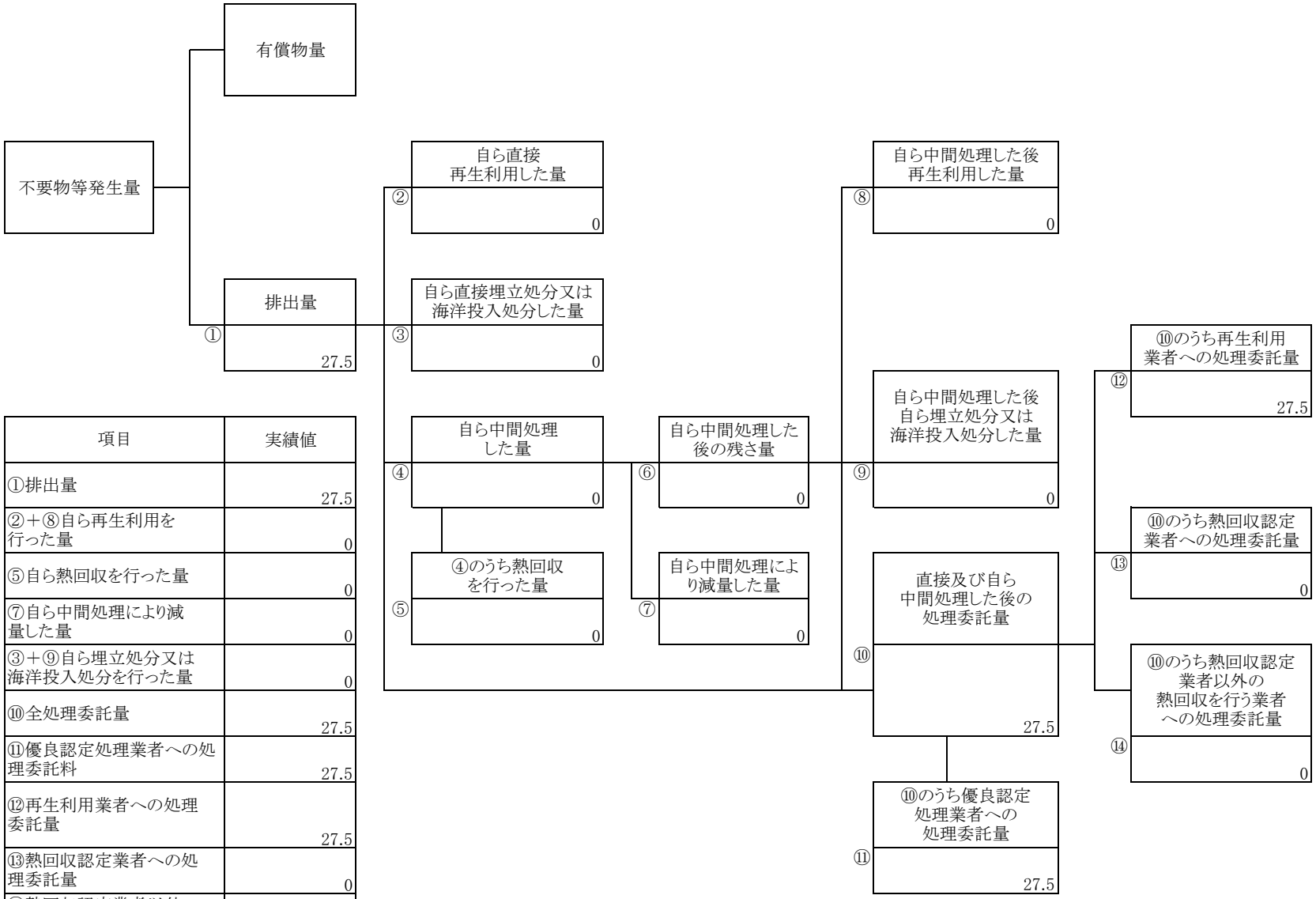


廃棄物

項目	実績値
①排出量	2.1
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.1
⑪優良認定処理業者への処理委託料	2.1
⑫再生利用業者への処理委託量	2.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類：木くず　　）

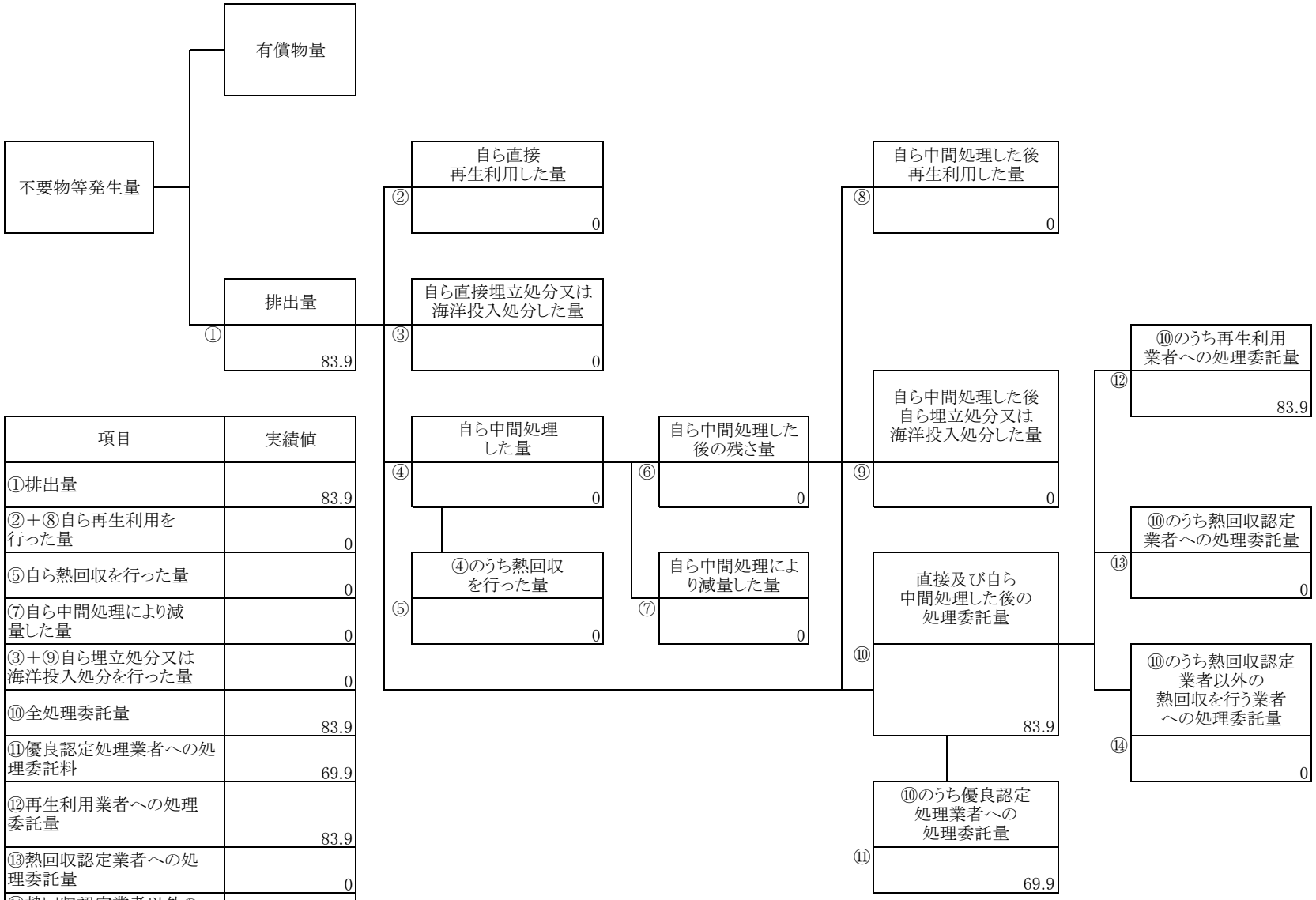


廃棄物

項目	実績値
①排出量	27.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	27.5
⑪優良認定処理業者への処理委託料	27.5
⑫再生利用業者への処理委託量	27.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

計画の実施状況　　（産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物　　）



項目	実績値
①排出量	83.9
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	83.9
⑪優良認定処理業者への処理委託料	69.9
⑫再生利用業者への処理委託量	83.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

廃棄物

（第2面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

廃(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律
3,330t　　3,330t

(14)　⑭欄　(10)の量の
2,020t
焼却処理委託量　3,330t

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄には、何も記入しないこと。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 21日

北九州市長　武内 和久　様

提出者
住　所　東京都品川区大崎1-5-1大崎ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ

氏　名　日鉄エンジニアリング株式会社
代表取締役社長　石倭　行人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０３－６６６５－２０００

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日鉄エンジニアリング株式会社
事業場の所在地	東京都品川区大崎1-5-1大崎センタービル
計画期間	令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高 81億円（前年度実績）
③従業員数	1,648人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本産業規格　A列４番）

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和４年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>1,071.29　t</td><td>13.00　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
調達品については梱包の簡素化に取り組んだ。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>500.00　t</td><td>10.00　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
従来の活動を継続する。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
処理委託前に可能な限り分別を実施し「建設混合廃棄物」委託処理量の低減啓発を実施している。</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
従来通り、「建設混合廃棄物」の排出量の低減を実施する。</td></tr>
</table>

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排　　出　　量	7.40　t	6.80　t	41.40　t	474.10　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
排　　出　　量	10.00　t	10.00　t	20.00　t	300.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
排　　出　　量	496.40　t	1,015.90　t	2.10　t	27.50　t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
排　　出　　量	200.00　t	500.00　t	2.00　t	20.00　t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（令和４年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
排　　出　　量	83.90　t	－　t	－　t	－　t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
排　　出　　量	50.00　t	－　t	－　t	－　t

（第３面）

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和４年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特段実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特段の計画はなし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="2">【前年度（令和４年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量した産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
特段実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産 業 廃 棄 物 の 量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減
量する産業廃棄物の量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
特段の計画はなし。</td></tr>
</table>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組） 特段実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t
	（今後実施する予定の取組） 特段の計画はなし。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃アルカリ
	全処理委託量	1,071.29 t	13.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	16.57 t	－ t
	再生利用業者への処理委託量	1,071.29 t	13.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t
	（これまでに実施した取組） 処理委託実績があり、且つ電子マニフェスト対応可能業者と優先的に契約を結んでいる。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	7.40 t	6.80 t	41.40 t	474.10 t
優良認定処理業者への処理委託量	2.90 t	－ t	9.80 t	122.80 t
再生利用業者への処理委託量	7.40 t	6.80 t	41.40 t	474.10 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
全処理委託量	496.40 t	1,015.90 t	2.10 t	27.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	29.60 t	1,015.90 t	2.10 t	27.50 t
再生利用業者への処理委託量	496.40 t	1,015.90 t	2.10 t	27.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和４年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
全処理委託量	83.90 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	69.90 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	83.90 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td colspan="2">産業廃棄物の種類</td><td>建設汚泥</td><td>廃アルカリ</td></tr>
<tr><td colspan="2">全 処 理 委 託 量</td><td>500.00　t</td><td>10.00　t</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>10.00　t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処 理 委 託 量</td><td>500.00　t</td><td>10.00　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>－　t</td><td>－　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
電子マニフェスト対応可能な業者は勿論のこと、出来るだけ「優良認定処理業者」と優先的に処理委託契約を結ぶ計画としている。</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	10.00 t	10.00 t	20.00 t	300.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	7.00 t	－ t	10.00 t	150.00 t
再生利用業者への処理委託量	10.00 t	10.00 t	20.00 t	300.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	紙くず	木くず
全処理委託量	200.00 t	500.00 t	2.00 t	20.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	100.00 t	500.00 t	2.00 t	20.00 t
再生利用業者への処理委託量	200.00 t	500.00 t	2.00 t	20.00 t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物			
全処理委託量	50.00 t	－ t	－ t	－ t
優良認定処理業者への処理委託量	50.00 t	－ t	－ t	－ t
再生利用業者への処理委託量	50.00 t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t	－ t	－ t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

⑴①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

⑵②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

⑶④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程

燃え殻→遮断型埋立処分（委託）

汚泥（建設汚泥・その他の汚泥）→脱水（委託）

→再生利用（委託）、管理型・安定型埋立処分（委託）

廃油→焼却(委託) →管理型埋立処分（委託）

廃酸・廃アルカリ→中和(委託)・乾燥（委託）→焼却→管理型・安定型埋立処分（委託）

廃プラ→選別・破砕・圧縮・溶融・焼却（委託）

→再生利用（委託）、管理型・安定型埋立処分（委託）

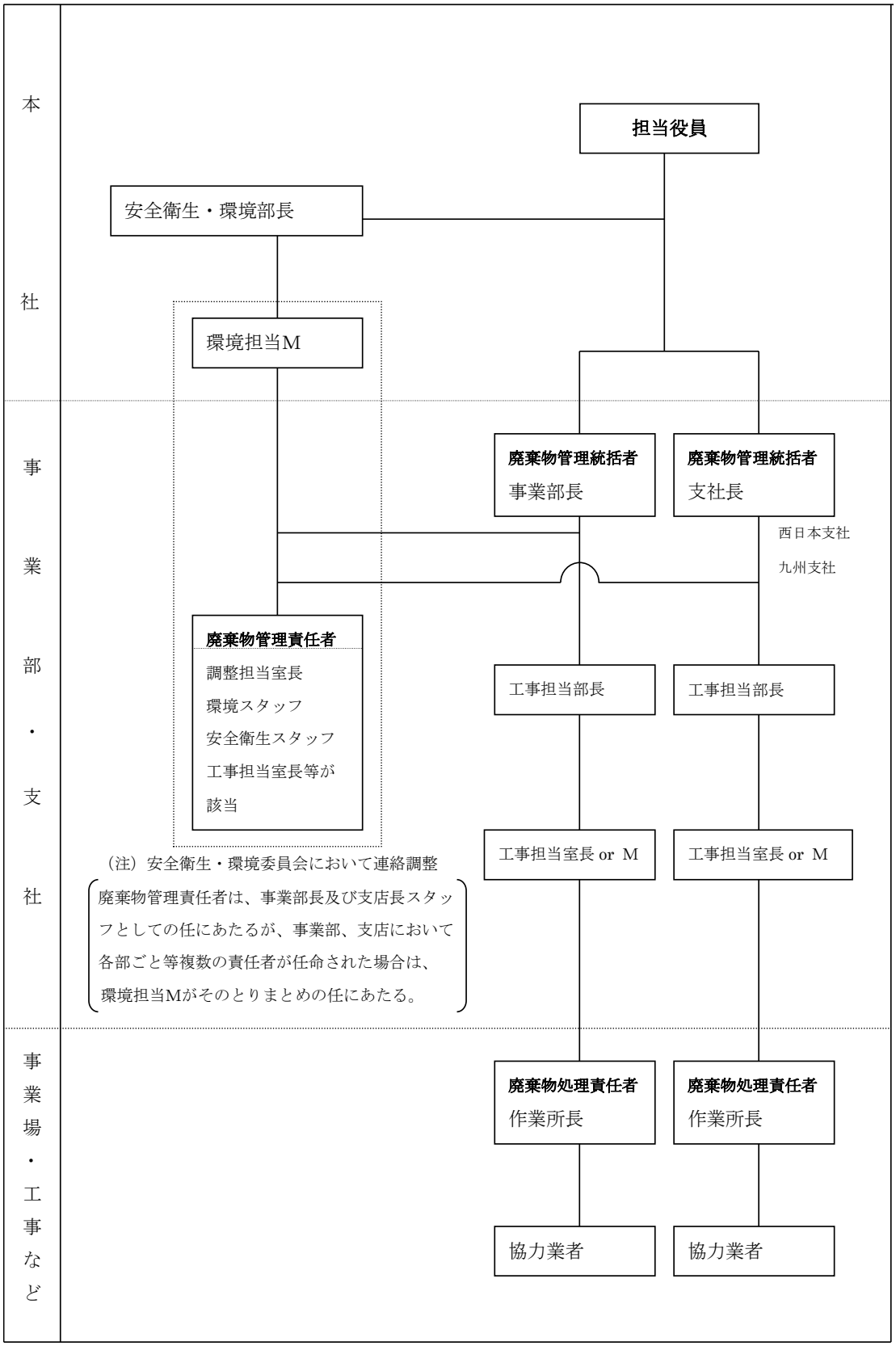
ガラス・陶磁器くず→選別・圧縮・破砕（委託）

→再生利用（委託）、管理型・安定型埋立処分（委託）

がれき類（コンクリート片・廃アスファルト・レンガ破片など）

→破砕（委託）→再生利用（委託）、安定型埋立処分（委託）

木くず・紙くず→破砕（委託）→焼却（委託）、再生利用（委託）→管理型埋立処分（委託）

建設混合廃棄物→選別・破砕・圧縮（委託）→管理型・安定型埋立処分（委託）

日鉄エンジニアリング株式会社の産業廃棄物排出管理体制